

50202港湾荷役業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2019	1	0 ～ 1	外国船貨物により、耐火物原料となる様々な固形物が含まれたフレコンバックが搬入されてきた。それを船内から陸へ引き上げ、リフトやショベルを使って倉庫内へ保管業務を行っていた際、粉塵が舞ってそれを吸い込んだことにより、じん肺を発症した。	62	90	911	30 ～ 49
2	2019	1	15 ～ 16	クレーンを使って原木を山積みしていた際、足下の原木が転がり、左足首を挟んで骨折した。	57	7	522	10 ～ 29
3	2019	1	13 ～ 14	バンニング作業中、角材を止めるためハンマーで釘を打ち込んでいた。釘の入りが悪いため力を入れて打ったところ、ハンマーで左親指を強打し骨折した。	26	3	364	10 ～ 29
4	2019	1	10 ～ 11	コンテナヤード構内にて、構内誘導車に乗車しコンテナカーコンテナヤード管理棟の無線指揮下による構内誘導作業へ従事していた。 構内主要路である中央レーン上十字交差する地点で、トレーラーが待機していたため、中央線を走行していた被災者の車がトレーラーを追い越したところ、交差する左レーンから中央レーンを跨いで通過している他のトレーラーと出会い頭に衝突した。その際、頭部に外傷を負い、顔面に擦過傷を負い、全身打撲を負った。	57	17	221	50 ～ 99
5	2019	1	16 ～ 17	コンテナ船に段積みされたコンテナの固縛解放作業をしていた。固縛台に設置されている固縛資材が固く、力を入れて引っ張ったところ、勢いよく資材が外れ支えきれず、固縛台と資材に左手中指を挟	43	7	379	100 ～ 299

				まれ骨折した。				
6	2019	1	10 ～ 11	倉庫内において、米フレコン（3段目）に紐をかける作業中、荷が崩れると思い、左斜め後方に飛び降り、両足を強打した。その際、左踵と右足首を負傷した。	41	1	611	1～ 9
7	2019	2	14 ～ 15	当社作業場で、トラック荷台に積んだ荷物（木箱）が動かないように固定するため、荷台上で角材を配置していた。雨天のため荷台上が濡れており、足を滑らせてうつ伏せの状態です約1.5m下の地面に落下し、胸を強打して骨折した。	24	1	221	10 ～ 29
8	2019	2	1 ～ 2	本社での1泊2日の研修中、同僚とともにホテル近くで夕食を済ませ、ホテルに戻った。深夜にホテル客室ベッド横で転倒し、机に頭部をぶつけて急性硬膜外血腫と脳挫傷を負った。	33	7	391	100 ～ 299
9	2019	2	9 ～ 10	船内荷役作業中に、合板の穴掘りをしていた際に足を踏み外し、合板2段（高さ約3m）から転落し、腰と左手首を骨折した。	62	1	416	30 ～ 49
10	2019	2	7 ～ 8	150tレッカーで厚板の水切りをしていた際、上がってきた厚板の振れを止めようと角を右手で持っていたところ、近くに積んでいた角材と厚板の間に右手中指・薬指・小指を挟み負傷した。	54	7	212	30 ～ 49
11	2019	2	15 ～ 16	倉庫前で軽トラックから手押しの台車（75cm×120cm）を降ろす際に手が滑り、落下した台車が左足親指に当たり受傷した。	50	2	221	100 ～ 299
12	2019	2	21 ～ 22	作業員詰め所に帰る途中、交差点を右折した際、対向車線から信号無視で直進してきた乗用車と衝突し、頸椎捻挫、背、腰および右膝挫傷を負った。	30	17	231	50 ～ 99
13	2019	2	21 ～ 22	作業員詰め所に帰る途中、交差点を右折した際、対向車線から信号無視で直進してきた乗用車と衝突し、頸椎、腰椎、両股関節捻挫および右膝挫傷を負った。	35	17	231	50 ～ 99
			21	作業員詰め所に帰る途中、交差点を右折した際、対向車線から信号				50

14	2019	2	22	無視で直進してきた乗用車と衝突し、頸椎捻挫および右足関節捻挫を負った。	49	17	231	～	99
15	2019	2	22	作業員詰め所に帰る途中、交差点を右折した際、対向車線から信号無視で直進してきた乗用車と衝突し、頸部、胸部、腰部および左膝挫傷を負った。	30	17	231	～	99
16	2019	2	22	作業員詰め所に帰る途中、交差点を右折した際、対向車線から信号無視で直進してきた乗用車と衝突し、左肋骨を折り、頸椎、腰椎および左肩捻挫を負った。	40	17	231	～	99
17	2019	2	22	作業員詰め所に帰る途中、交差点を右折した際、対向車線から信号無視で直進してきた乗用車と衝突し、頸椎捻挫、両膝打撲および左肩打撲を負った。	33	17	231	～	99
18	2019	2	22	作業員詰め所に帰る途中、交差点を右折した際、対向車線から信号無視で直進してきた乗用車と衝突し、頸椎捻挫、顔面挫傷および左下腿挫傷を負った。	52	17	231	～	99
19	2019	2	22	作業員詰め所に帰る途中、交差点を右折した際、対向車線から信号無視で直進してきた乗用車と衝突し、左肩打撲を負った。	44	17	231	～	99
20	2019	2	22	作業員詰め所に帰る途中、交差点を右折した際、対向車線から信号無視で直進してきた乗用車と衝突し、腰椎横突起骨折を負った。	26	17	231	～	99
21	2019	2	10	船内で鉄板の玉掛作業中、鉄板が若干上下に振れたことで巻き上げた鉄板とその下に積載されている鉄板との間に親指を挟んで右手親指に裂傷を負った。	25	7	611	～	99
22	2019	2	11	荷捌場でオープントップコンテナの天井シートをロープにて固定する作業をしていたときに、バランスを失い転落し頭部と胸部を打撲し、左肩鎖骨を折った。	59	1	222	～	29
			8	魚市場で選別作業中、別の場所へ歩いて移動する際、前方に設置し					30

23	2019	2	9	～	てある階段用ブロックにつまずき転倒し、右膝を骨折した。	73	2	417	～	49		
24	2019	2	11	～	12	作業後、休憩室へとつながる階段を上がっている途中、つまずき転倒し右肘を骨折した。	61	2	413	30	～	49
25	2019	2	16	～	17	岸壁にて台車上に乗り、荷役作業を行っていた。台車上の四方に、上下二本張ってある転落防止ベルトに被災者が寄り掛かった際、上のベルトが緩んで外れ、左足膝裏が下のベルトに、左足甲は台車の縁に引っ掛かり、左足でぶら下がったような状態で背中から落下した。その衝撃で左足を負傷した。	39	1	362	30	～	49
26	2019	2	10	～	11	倉庫内にてフレコンバッグの出荷のときに玉掛け作業を行う際、足を滑らせ落下し、むち打ち症を負い、右腕を負傷した。	75	1	611	30	～	49
27	2019	2	9	～	10	船内にて、積み込み車両のラッシング（船内の床面に車両を固定）作業中、車両を誘導しようと歩行中、固縛器具に足で踏みバランスを崩し転倒した。その際、左膝を負傷した。	21	2	417	50	～	99
28	2019	3	9	～	10	本船荷役岸壁で、水揚げ作業（コイル）に従事していた。Aレーンに停車させたとき、荷降ろし時に使用する緩衝材の在庫がなかったため、車両前方を通過してBレーン退避台に上がり緩衝材を取り、Bレーンに停車中の車両荷台から自車車両に載せようとした。その際、退避台の足場を出し忘れていたため、ラックと車両の間に転落して肋骨を折った。	72	1	416	100	～	299
29	2019	3	9	～	10	港湾荷役業務で、厚板を割る際に両膝をついて作業していたところ、ボールが滑って体勢を崩し、約1mの高さから落下した。その際、左手を地面について腕と肘を骨折した。	36	1	521	50	～	99
30	2019	3	21	～	22	船内作業でカートンの中身の、ビニールパックの結び目を切るため、鎌を使っていたところ、勢い余ってビニールパックの結び目を持っていた左手中指を切り、伸筋腱を断裂した。	50	8	364	100	～	299

31	2019	3	9 ～ 10	工場でフレコンバックの水切り作業中、フレコンバックの紐と作業用スリングの間に足が挟まったことを気付かずに、吊り上げ完了の合図を出してしまい、30t吊り電動クレーンで体が宙ぶり体勢になってフレコンバックの重みで左腓骨遠位端開放骨折した。	36	7	211	10 ～ 29
32	2019	3	10 ～ 11	倉庫敷地内にて同僚2名と平ボディトラック荷台にてコークスを均す作業に従事中、平に均した後、トラック横のパレット上に退避し、運転手に発車OKの合図を出しダンプが発車したところ、トラック荷台右後部がパレットに接触し、弾みでパレット上から地面へ転落した。その際、外傷性脳挫傷を負った。	69	1	413	10 ～ 29
33	2019	3	18 ～ 19	接岸した水船の揚げ荷役のため、移動式クレーンを操作中、クレーンを荷捌地に移動し、運転席から降りる際、下段パイプに掛けた右足が滑り転落し、地面に左手をつき負傷した。	51	2	521	50 ～ 99
34	2019	4	13 ～ 14	船のデッキ上で、船のバルブを閉めるために、雨で濡れていたデッキを、長靴を履いて移動している際中に、転倒し右肩を脱臼した。	19	2	419	1～ 9
35	2019	4	8 ～ 9	定期船からの荷をクレーンで土場に置こうとした際に、またいだ、H鋼台の先に厘木があることに気付かず、足を置き転倒し、右足首の捻挫および第5中骨骨折を負った。	43	2	416	10 ～ 29
36	2019	4	10 ～ 11	市営渡船の待合所棧橋で、入港した船から台車1個をスロープを使って1人で後ろ向きで降ろしていたところ、踏ん張った右足脛脛内側に肉離れを負った。	68	19	362	—
37	2019	4	11 ～ 12	岸壁停泊中の船に綿材コイルを積み付けた後、甲板で2名で固縛作業をしていた。固縛帯鉄を持ち1列目コイルから2列目へ移動するとき、誤って開口部より7.4m下の船底に転落し、右大腿、右手首、右頬を骨折した。	36	1	414	100 ～ 299
38	2019	5	13 ～	岸壁にて運搬船離岸のために、係船ロープを外す作業をしていて、係船ロープが張って、顔面を直撃し、左頬を骨折した。	30	6	379	1～ 9

			14						
39	2019	5	14 ～ 15	貨物搬入の際、フォークリフトを後退させたところ、フォークリフト後方にいた作業員に当たり、右足の骨折、右脛脛に裂傷を負った。	68	6	222	10 ～ 29	
40	2019	5	10 ～ 11	被災者は、本船ハッチホールド内へはしけからコイルを船内に積み付けるため、本船クレーンを使用してはしけ内で玉掛け作業に従事していた。1段目のコイルに登り、2段目のキーコイルにスリングベルトを通して玉掛けが完了したので、安全な場所へ退避移動しようとしたところ足を踏み外し、1.2mの高さからはしけ床面へ落下し左橈骨を折った。	25	1	521	30 ～ 49	
41	2019	5	9 ～ 10	鋼材水切り作業に従事していたとき、船首側作業中、次の作業である船尾側の貨物のはい付け状況確認しようと船首から船尾に移動していたところ、H鋼とH鋼の間隙に足を取られバランスを崩し、約1.5m下の鋼材上に墜落した。その際、背中を強打し、骨盤部および左腰を折った。	33	1	521	30 ～ 49	
42	2019	6	12 ～ 13	本船荷役作業中、本船デッキ上の足場に乗り船倉内の状況を確認し、右足から降りた際、右足をひねり受傷した。	22	19	921	100 ～ 299	
43	2019	6	15 ～ 16	沿岸岸壁を歩行中、コンクリート継ぎ目の窪みの穴に足を取られてひねり、右足踝を離骨折した。	43	2	417	50 ～ 99	
44	2019	6	14 ～ 15	清掃作業でスコップを使い、ヤード内に堆積した珪砂を1箇所を集める作業で右手に骨挫傷を負った。	33	19	364	30 ～ 49	
45	2019	6	15 ～ 16	岸壁接岸船内にて、積み付けられた輸出鋼材の固締をしていた。その際、積み付けられた鋼材（高さ50cm）の上部より腰を下ろし、床面へ下りたとき、床面に散らばっていた角材の上に左足を乗せて着地したため左足首を捻挫した。	36	19	379	30 ～ 49	

46	2019	6	11 ～ 12	物流センターにて荷台に置いていた段ボール入りの貨物（20kg）が箱から滑り落ちそうになって受けに行った際、左手小指で受け止める形になり左小指基節骨を折った。	55	4	611	10 ～ 29
47	2019	6	7 ～ 8	鋼材置き場でフォークリフトから降りる際、両手に物を持っていたため、手すりを使わずにステップの上に立ったところ、足を滑らせて尻から転倒し、腰骨を折った。	41	1	222	1～ 9
48	2019	6	13 ～ 14	重量物倉庫で、中古機械をオープントップコンテナに番詰作業をしていたところ入らなかったため、確認しようと中古機械に上ろうとした。その際、バランスを崩し高さ約2mから飛び下り、右足踵を骨折した。本来は昇降台を使用し機械に上り作業をしている。	40	1	391	50 ～ 99
49	2019	7	11 ～ 12	高さ85cmの作業台で、バルブ船積み作業中に、作業用リフトが過って、作業台に追突し、そのはずみで作業台から転落し、右前頭部裂傷および左手薬指を陥没負傷した。	74	1	222	10 ～ 29
50	2019	7	8 ～ 9	船内に積み込み作業時、待機中に後ずさりした際に、足下の貨物（肥料入り紙袋）の凹みに足を取られ左足首をひねって骨折した。	53	19	611	30 ～ 49
51	2019	7	8 ～ 9	船上で、カツオを漁獲した網をクレーンで持ち上げている際に、左足が網の中に入り、入ったままの状態を持ち上げられ、網とハッチ口の間で足を挟み、左距骨骨折および左足舟状骨骨折を負った。	52	7	215	30 ～ 49
52	2019	7	10 ～ 11	タンカー船の綱取りボート要員として従事中、棧橋からメッセンジャーロープを受け取った際、ロープがボートフェンダーに引っ掛かり、ロープを外した直後、腰部を痛めた。	29	19	921	100 ～ 299
53	2019	7	10 ～ 11	渡船待合所棧橋にて、出航直前に客を誘導しようとして、棧橋上にある水道ホースのステンレス製の台座に右足が引っ掛かりバランスを崩し転倒した。その際、近くにあった鉄製のフェンスに右肩が当たり打撲し、右足部を骨折した。	63	2	417	—

62	2019	9	15 ～ 16	船内のブルドーザーのオペレーター作業に従事していた。穀物の山を機械式アンローダー側へ押していた際、ブルドーザーが穀物の凸状の上に乗り上げ、前進も後退もできない状況になった。アンローダーから離れようと左旋回させたところ、穀物の山が勢いよく崩れ、アンローダーのカバー部分に右下半身が接触し、打撲した。	19	3	529	～ 299	100
63	2019	9	15 ～ 16	船のコンテナラッシング作業に従事していた。ラッシング作業が終了したため、ステージ上からデッキへ垂直タラップを手にラッシングの締め棒を持ちながら下りた。その際、タラップに付着していたグリスに滑り、高さ2mから落下し、右足踵を骨折した。	20	1	371	～ 299	100
64	2019	9	8 ～ 9	観光栈橋に接岸した貨物船のリードロープを引き親綱ロープをビットに掛けた際、栈橋に設置されているタイヤパッキングの下側にロープが絡みそうになった。栈橋のコンクリート部に右足を掛け、両手でロープを掴み、タイヤの外側に大きく上体を左側に反り返った瞬間、腰部にロープの負荷がかかり、負傷した。	44	19	379	～ 29	10
65	2019	9	16 ～ 17	埠頭バースで荷揚げ作業中、本船上でコンテナを固縛する際に足場から転落し、約2.5m下の甲板上に転落した。その際に頭部を打ちつけて、脳挫傷を負った。	50	1	239	～ 29	10
66	2019	9	7 ～ 8	構内の塗装場前で、鋼材の水切りをする際、被災者と同僚の2名で船内と沿岸に分かれて作業を開始した。被災者がパレットを沿岸に仮置きし、同僚が合図・確認をしてパレットを着底させた。被災者が盤木の位置を再調整しようとしたとき、盤木に左手人差し指と中指を挟まれて挫創を負った。	19	7	215	～ 99	50
67	2019	9	9 ～ 10	倉庫で外国産魚粉（20×15本）をバン出し中、フレコンの紐にロープを掛け、コンテナの扉までリフトで引っ張り出す際に、右手中指を巻き込まれ負傷した。	71	7	222	～ 299	100
68	2019	9	15 ～	コンテナターミナルにて、フォークリフトに設置したゴンドラに乗り、オープントップ・コンテナの天井にシート掛け作業を行っていた。シートを手前に引っ張ったとき、バランスを崩し、高さ約1mの	61	1	222	～	10

			16	ゴンドラ内から地面に落ちて、右足踵をつき骨折した。				29
69	2019	9	14 ～ 15	埠頭にて、岸壁へ停泊中の船より移動式クレーンを用い荷下ろし作業中、荷振れ防止のため、H鋼に手を添え、本来はない隙間が空中で吊り上げた際に開き、その隙間に手がかかり、荷が置かれたことにより、隙間が消えた。その際、右手示指を挟み負傷した。	26	7	611	10 ～ 29
70	2019	10	14 ～ 15	事業所内で鉄板の荷降ろし作業中、鉄板上でハッカーを外そうとした際に足が滑り約2.5m下に転落して、右手を骨折した。	60	1	521	30 ～ 49
71	2019	10	18 ～ 19	被災者はフォークリフト操作者で日頃から運転席に座り続けることが多く、腰に違和感を覚えていたが、フォークリフトから降りるため左足をついたとき激痛が走り、ぎっくり腰を負った。	45	19	921	10 ～ 29
72	2019	11	14 ～ 15	水揚げ用板台作業で船からレッカーによって運ばれたモッコを板台の上を開ける作業をしていた。モッコに絡まった魚を落としていたとき、誤って右足の上にモッコを落とし、負傷した。	67	4	529	10 ～ 29
73	2019	11	14 ～ 15	作業場で木箱梱包中、コイルに歯止めを入れるとき、コイルが動き歯止めが弾かれて右手親指に当たり脱臼を負った。	49	7	611	10 ～ 29
74	2019	11	15 ～ 16	冷凍倉庫内の3階冷凍庫内にて、前後2列並んだアングルの奥側から貨物をピックアップしようとした。その際、手前アングル内にある貨物の上に胸をつけ、奥に手を伸ばし片手でバンドルを掴み手前に引っ張った。その際、想像より重く、胸が押し付けられ（圧迫）、右肋軟骨を折った。	56	3	611	1～ 9
75	2019	11	15 ～ 16	倉庫内でトレーラー上に貨物を積み、作業終了のためトレーラーから下りるときに、足を掛けたところにスプリングがあり、そのスプリングが回り足を滑らせ落下し、右足で着地した際、右膝を断裂した。	20	4	221	50 ～ 99
				船にてクレーン荷役予定分の準備作業開始し、BAY03番山側の足場				

76	2019	11	8 ～ 9	に立ち、約20kgのラッシングロングバーをBAY05番へ立て掛けようとした際、バランスを崩しデッキ上足場から岸壁（高さ約3.6m）へ転落した。その際、ラッシングロングバーを持ったまま、本線通路手すりおよび係船ロープに接触し落下し、右足脛を骨折し挫傷を負った。	62	1	239	100 ～ 299
77	2019	11	10 ～ 11	当社整備工場前の土場にて、整備作業中、地面凍結に足が滑り、転倒し、右肩を負傷した。	68	2	719	10 ～ 29
78	2019	12	16 ～ 17	上屋内でコンテナデバン作業を行うため、コンテナシールのボルトをボルトカッターで切断し始めた。その際、ボルトが固く、ボルトカッター片方を胸部で固定し切断したとき、負傷箇所に負荷が掛かった。後日、肋骨骨折と診断された。	52	19	364	1～ 9
79	2019	12	16 ～ 17	コンテナバースにて、コンテナの固定作業中、固定位置にロングバーが入り難く、慣れた他の作業員と交代しようとしたとき、動かしていたロングバーのバランスが崩れ倒れ込み、右足首に当たり骨折した。	24	5	379	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。